

あなたの「ご意見をお寄せください」

# 夕陽の丘「山香荘」の活用について

大山観光の柱の一つであった「スキー・スノーボード」は近年入り込み客が大幅に減少し、いわゆるグリーンシーズンへの取り組みが大山町全体の活性化の要素となっています。大山町では体験型・交流型・滞在型の観光交流産業を大山ツーリズムとして展開を図ろうとしております。その中でもスポーツ大会や合宿などスポーツツーリズムは全国的にも注目を集めているところですが、

大山町ではこの事業展開にあたり、スポーツツーリズムの中核施設として神田地区の山香荘を中心とした地域休養施設を活用することにより、施設の利用率向上だけでなく、地域全体の経済活性化を目指していきたいと考えています。

この活性化策につきまして、町民の皆さんのご意見をお寄せください。

## 経過と現状

夕陽の丘「山香荘」は、地域休養施設として昭和55年度から57年度にかけて農林水産省の新農業構造改善事業により整備されました。その後、幾度かの拡充・改修等が行われ現在に至っています。その間、加藤登紀子さんのコンサートや観光リンゴ園との連携、また、ここ数年は陸上競技やサッカーなどのスポーツ合宿を中心に一定の成果は残してきていますが、経営的には赤字基調が続く、厳しい経営環境にあります。

## 一般会計からの繰入金額（単位：千円）

16年度	20,110
17年度	11,741
18年度	24,580
19年度	14,837
20年度	11,521
21年度	10,862
平均	約 15,600

## 地域休養施設の再生策

- ①スポーツ合宿を重点とした施設活用
  - (1)日本サッカー協会認定の鳥取県フットボールセンターとして、鳥取県内のアマチュアサッカーの拠点施設
  - (2)リピート率の高い陸上、ラグビー、バドミントン等周辺施設と連携した合宿拠点
- ②周辺地域活性化の拠点施設としての施設活用
  - (1)神田地区観光リンゴ園との連携を図り、地域のランドマークと共に活用促進の拠点施設
  - (2)周辺の観光農園・牧場、茶生産組合などを含めた地域全体の活性化拠点施設
  - (3)大山ツーリズムにおける体験交流、呉市等との交流拠点
  - (4)その他多様な町民利用（スポーツ・レクリエーション等）に供する施設
- ③施設自体の魅力を向上させるための体制整備
  - (1)当該施設運営にノウハウを持つ者への指定管理
  - (2)積極的な誘客活動に取り組める人材確保
  - (3)周辺地域住民や事業者との連携を重視